HIKAWA

広報ひかわ

2016 No.133
11

氷川町キャッチフレーズ【大地の恵み歴史の香り氷川町】



特集 **第11回氷川町梨マラソン大会**



秋の香りに誘われて

Contents

2 もくじ
3 第11回氷川町梨マラソン大会
4 氷川町の財政事情を公表します
6 町民体育祭秋季大会
7 宮原三神宮秋季大祭
8 すくーるらいふ（宮原小学校）
10 ダイヤモンド婚・金婚式
11 まちのトピックス！
14 けんこうだより
15 こころの健康コーナー／認知症キャラバンメイトだより
16 立神峡だより
17 町民文芸
18 ひかわスポーツクラブだより！！／八火図書館だより
19 くらしの情報
24 伝言板／ひとのうごき／氷川町の火災・救急件数
25 11月カレンダー
26 ひかわっ子写真館／編集後記



秋に桃色・白・赤などの花を咲かせるコスモス。漢字の「秋桜」という字は、山口百恵さんのヒット曲である、さだまさしさん作詞作曲の「秋桜」で用いられて以降浸透していったようです。冬支度でしょうか、ハチも夢中で花から花へと飛び回っていました。

（10月14日撮影　高塚）

特集

第11回氷川町梨マラソン大会

氷川町の秋を感じ、駆け抜けろ

9月22日、第11回氷川町梨マラソン大会が行われ、県内外から多くのマラソン愛好者たちの参加がありました。

朝方から降りだした雨も、スタートをする頃には止み、走りやすい気候の中でランナーたちが競技に臨みました。スタート地点にずらりと並んだランナーたちは、号砲とともに一斉にスタートをきり、距離の異なる3種類のコースを、沿道からの温かい声援を受けながら駆け抜け、ゴールの竜北公園を目指しました。記録に挑むトップ争いのランナーや、趣向を凝らした衣装を身に纏ったランナーが大会を大いに盛り上げてくれました。

また、コース中の給水所ではランナーに吉野梨が振る舞われ、氷川町の秋の景色と味覚を満喫できる大会となりました。



▲ひかりんも応援に駆けつけました





▲参加賞の梨



▲中学生も受付の手伝い



▲号砲とともに一斉にスタート！



▲元気にゴール目指します！


▲給水所では梨を補給


▲上り坂。先はまだ長い…


▲かわいい応援隊も出動「タッチ！」


▲無事に完走


▲氷川町の梨は美味しいです

衣装にも注目！


▲カープ優勝！


▲親子でかわいい妖精に


▲武士も完走！


▲シマウマ男、走る。


▲ひよこも走る！

入賞者一覧

10km　39歳以下男子		
男子	1位	梅本　和海（玉名市）
	2位	倉田　大吾（水俣市）
	3位	平金　健（山鹿市）

10km　40歳～59歳男子		
男子	1位	田尻　貴之（宇城市）
	2位	山元　城二（鹿児島県）
	3位	倉野　貴光（鹿児島県）

10km　60歳以上男子		
男子	1位	浜崎　明彦（相良村）
	2位	小山　文孝（熊本市）
	3位	平嶺　明光（鹿児島県）

10km　女子		
女子	1位	山賀　操（福岡県）
	2位	松本恵美子（熊本市）
	3位	松下真紀子（天草市）

5km		
男子	1位	渡辺　暁雄（山鹿市）
	2位	蒲生　英樹（宮崎県）
	3位	吉留　達郎（鹿児島県）
女子	1位	矢野　恵（大分県）
	2位	飯田サチ子（福岡県）
	3位	本村　鯉恵（鹿児島県）

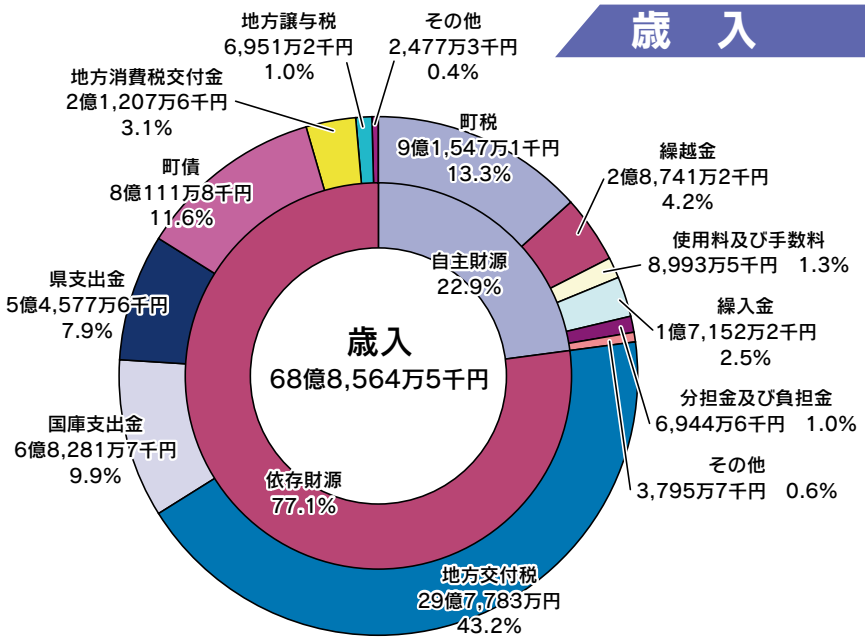
3km		
男子	1位	田上　朋史（水俣市）
	2位	大嶋　力（八代市）
	3位	簑田　征典（合志市）
女子	1位	松野　藍霞（宇土市）
	2位	大嶋　千桜（八代市）
	3位	内野　智南（阿蘇市）

氷川町の財政事情を公表します
～ 平成27年度決算と平成28年度上半期の状況 ～

平成27年度決算の状況および平成28年度上半期の執行状況の概要をご紹介します。
皆さんから納めていただいた税金などのお金がどのように使われているのでしょうか。

平成27年度 決算

歳　入



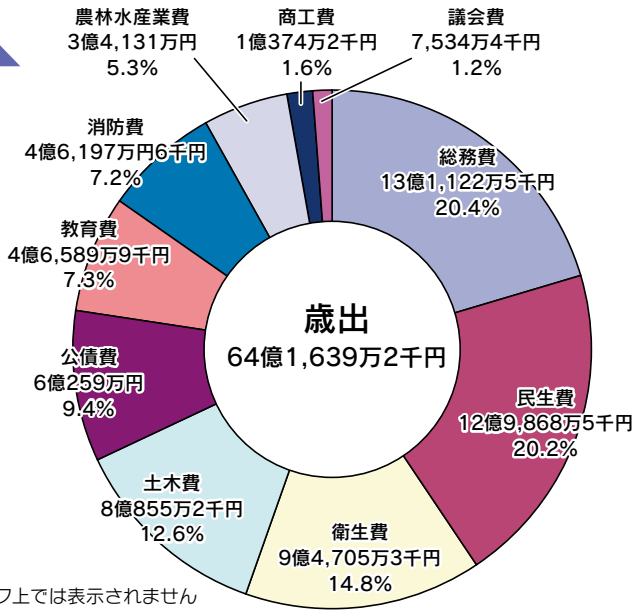
歳入決算額は、建設事業費減に伴う補助金や町債の減の影響により、前年に比べおよそ9億751万円の減となりました。歳入のうち町税や繰越金、手数料、基金繰入金など町が自主的に収入できる財源（自主財源）の合計は、15億7,174万3千円です。

一方、地方交付税や国・県からの補助金、特定の事業に充てることができる町債（借金）など、国・県により定められたり、割り当てられたりする収入（依存財源）の合計は、53億1,390万2千円となっていて、歳入の8割近くを占めています。

歳　出

歳出決算額は、前年度に比べおよそ8億2,935万円の減となりました。歳出費目では、竜北西部小・竜北中学校校舎耐震改修・大規模改造事業と八火図書館建設事業が前年度で完了したことなどにより、学校教育や社会教育事業に使われた教育費が大きな減少（前年度比9億3,897万円減）を示したほか、土木費（同1億6,492万8千円減）、農林水産業費（同1億2,147万1千円減）などで減少しています。

一方、消防費（同1億2,732万7千円増）や町債の元利償還金である公債費（同6,136万7千円増）は増となりました。



※その他　1万6千円は端数処理の関係でグラフ上では表示されません

■平成27年度特別会計の決算　（表1）　（単位：千円）

会計の種類	歳入	歳出	差引
国民健康保険	2,499,807	2,414,623	85,184
介護保険	1,449,993	1,380,300	69,694
下水道事業	604,281	593,961	10,320
宅地開発事業	9,326	9,215	110
後期高齢者医療	145,860	145,566	294

（注）表示単位未満四捨五入の関係で、差引が一致しない箇所があります。

一般会計と特別会計

会計の種類には、一般会計と特別会計があり、一般会計が町の基本的な経費が中心となっているのに対し、特別会計は特定の事業に対して特定の歳入を充てるもので、〔表1〕のように5種類の会計があります。

連絡先
【お問い合わせ先】
企画財政課　財政係
☎52-5850

■町有財産の状況

区分		数量
土地		573,221.79㎡
建物		60,244.03㎡
その他	杉	3,729本
	桧	3,727本
	自動車等	65台
	出資金・有価証券	55,511千円
	貸付金等	13,390千円

平成28年3月31日現在

■平成27年度末基金現在高　(表2)

(単位:千円)

基金の名前	現在高
財政調整基金	2,625,122
合併振興基金	679,616
減債基金	50,951
地域福祉基金	20,416
竜北物産館運営基金	43,931
ふるさと氷川応援基金	3,344
ふるさと振興基金	11,251
土地開発基金	53,763
国民健康保険基金	44,338
介護給付費準備基金	93,696

基　金

基金とは、不測の事態への対応や特定の目的のために積み立てられた町の預金で、〔表2〕のように一般会計と特別会計を併せて10種類の基金があります。27年度は、地区活性化総合交付金事業やいきいきサロン事業などに合併振興基金を充てています。

平成28年度　上半期における予算執行状況　～9月までの補正予算の概要～

平成28年度当初予算については、5月号で紹介しましたが、熊本地震の影響により、9月末の時点で26億215万2千円の補正を行っており、合併後最大の予算規模となっています。

主な内容としましては、災害等廃棄物処理事業費、道路や学校施設など公共施設の災害復旧事業費、被災農業者向け経営体支援事業補助金、地震被害に対する住宅リフォーム事業補助金などです。

■平成28年度上半期　予算執行状況

歳　入

(現年度分)

(単位:千円)

款＼区分		予算現額(A) 金額	構成比 %	収入済額 (B)	収入率 % (B)/(A)
1.	町税	900,603	10.2	503,867	55.9
2.	地方譲与税	75,000	0.9	19,372	25.8
3.	利子割交付金	2,000	0.0	310	15.5
4.	配当割交付金	500	0.0	414	82.8
5.	株式等譲渡所得割交付金	100	0.0	0	0.0
6.	地方消費税交付金	160,000	1.8	108,346	67.7
7.	自動車取得税交付金	10,000	0.1	3,029	30.3
8.	地方特例交付金	3,000	0.1	3,239	108.0
9.	地方交付税	2,710,000	30.7	2,568,480	94.8
10.	交通安全対策特別交付金	1,786	0.0	900	50.4
11.	分担金及び負担金	67,632	0.8	19,143	28.3
12.	使用料及び手数料	87,253	1.0	42,335	48.5
13.	国庫支出金	1,155,661	13.1	226,923	19.6
14.	県支出金	1,290,719	14.6	67,023	5.2
15.	財産収入	6,190	0.1	4,047	65.4
16.	寄附金	11,215	0.1	11,721	104.5
17.	繰入金	766,735	8.7	0	0.0
18.	繰越金	381,463	4.3	460,639	120.8
19.	諸収入	54,126	0.6	25,757	47.6
20.	町債	1,133,000	12.9	0	0.0
歳入合計		8,816,983	100.0	4,065,545	46.1

(繰越明許分)

款＼区分		予算現額(A) 金額	構成比 %	収入済額 (B)	収入率 % (B)/(A)
1.	国庫支出金	40,515	24.4	14,457	35.7
2.	県支出金	907	0.5	0	0.0
3.	繰越金	8,614	5.2	8,614	100.0
4.	諸収入	13,630	8.2	0	0.0
5.	町債	102,600	61.7	0	0.0
歳入合計		166,266	100.0	23,071	13.9

平成28年9月30日現在

歳　出

(現年度分)

(単位:千円)

款＼区分		予算現額(A) 金額	構成比 %	支出済額 (B)	執行率 % (B)/(A)
1.	議会費	69,256	0.8	34,053	49.2
2.	総務費	1,661,984	18.8	835,183	50.3
3.	民生費	1,602,002	18.2	526,015	32.8
4.	衛生費	1,918,930	21.8	346,026	18.0
5.	農林水産業費	1,213,128	13.8	76,468	6.3
6.	商工費	141,368	1.6	40,543	28.7
7.	土木費	632,634	7.2	247,574	39.1
8.	消防費	390,115	4.4	213,606	54.8
9.	教育費	407,790	4.6	154,187	37.8
10.	災害復旧費	69,471	0.8	8,898	12.8
11.	公債費	707,555	8.0	348,352	49.2
12.	予備費	2,750	0.0	0	0.0
歳出合計		8,816,983	100.0	2,830,905	32.1

(繰越明許分)

款＼区分		予算現額(A) 金額	構成比 %	支出済額 (B)	執行率 % (B)/(A)
1.	総務費	39,398	23.7	1,278	3.2
2.	民生費	100,747	60.6	0	0.0
3.	衛生費	1,004	0.6	0	0.0
4.	商工費	276	0.2	0	0.0
5.	土木費	24,841	14.9	0	0.0
歳出合計		166,266	100.0	1,278	0.8

平成28年9月30日現在

■町民の税負担状況

(人口:12,376人)

税目	調定済額(過年度分除く)	町民一人当たりの負担額
町民税	377,601千円	30,511円
固定資産税	421,722千円	34,076円
その他の税	91,943千円	7,429円
合計	891,266千円	72,016円

平成28年9月30日現在

秋晴れの空の下繰り広げる熱戦

第11回町民体育祭秋季大会

10月2日、竜北グラウンドにおいて、町民体育祭秋季大会が行われ、36地区館の参加がありました。

連日の雨で開催が心配されましたが、当日は暑すぎるくらいの良い天気に恵まれました。

競技では、陸上競技やパン食い競争など、白熱した争いとなり、最終競技の地区対抗リレーでは各地区館のテントから、この日一番の熱い声援が飛ぶなど、各地区館とも一体となって楽しんでいました。


▲全力疾走でゴール


▲「宣誓！打ち上げまで全力で！」


▲あとは任せろ！


▲「手…手を使いたい…」


▲応援にも熱が入ります


▲お菓子目がけて全速力


▲飲みきったかチェック


▲「急いで、急いで！」

成　績　発　表

総合成績	
優　勝	東網道
準優勝	新　村
3　位	有　佐

秋季大会	
優　勝	有　佐
準優勝	新　村
3　位	南鹿野
躍進賞	宮　園

地区支部対抗リレー			
町長杯	下　宮	体育協会長杯	町
議長杯	中大野	陸上競技協会長杯	有　佐
教育長杯	新　村	スポーツ推進委員会長杯	東網道


▲総合優勝：東網道


▲秋季大会優勝：有　佐

長き伝統を受け継いで

宮原三神宮秋季大祭

10月13日、宮原三神宮秋季例祭が行われました。

この祭りは五穀豊穣を氏神様に感謝する祭りで、応保元(1161)年に始まったとされる古い歴史を持つ祭りです。

宮原三神宮境内において神事が行われ、獅子舞、神馬奉納、飾馬、子ども神輿、奴、ドラ、亀などの奉納の後に、神幸行列が川原大神宮に向けて出発しました。

今年は地元テレビ局でも取材に来ており、県内各地に氷川町伝統の秋季例祭が放送されました。

沿道には何時にもまして多くの人が見物に訪れており、大変なにぎわいを見せました。

























すくーる らいふ school life（宮原小学校）

宮原小のめざす児童像

（健）いきいきとし夢を持つ子
- 健康で健やかなのびのびと明るい心身

（根）粘り強くがんばる子
- 根気強く粘り強い学習や仕事

（信）互いに信頼し思いやりのある子
- 互いに約束を守り信頼し合える生活

児童一人ひとりが大切にされる宮原小をめざして



自分の大切さとともに他の人の大切さも認めることができる児童、人とつながる力を持った児童を育てる取り組みを進めています。

新学期に運営委員会の児童が、「やさしい宮っ子」宣言を行い、人の嫌がることをせず、お互いを思いやる「やさしい宮っ子」を目指そうと呼びかけました。

なかま委員会では、1年から6年までの縦割り班で給食を食べる「にこにこ給食」や「にこにこ遊び」をやっています。

あいさつ運動一斉行動の日　毎月15日

氷川町ではコミュニティ・スクールの取組の一環として、子どもたちが安心して暮らせる町づくりを目的とした「あいさつ運動」に取り組んでいます。今年はこの取り組みをさらに充実させ、人と人をつなぐ挨拶ができる氷川っ子を育てるため、学校・地域・行政が一体となり「あいさつ運動一斉行動の日」として毎月15日の朝に実践しています。









平和や戦争について考える平和集会　9月13・16日

戦争の悲惨さや、平和の大切さと尊さを学び合い、平和な社会を築いていこうとする態度を育てるために毎年開催しています。

今年は、1～3年生は「戦争中の暮らし」について長尾欣子様から話を聞きました。3～6年生は「青い目の人形」について廣松最子様から話を聞きました。子どもたちはしっかり話に聴き入り、質問したり感想を発表したりして平和について深く考えることができました。





水俣に学ぶ肥後っ子教室・集団宿泊教室　9月15・16日

5年生が1泊2日で、水俣病や環境に関する学習をする「水俣に学ぶ肥後っ子教室」と集団宿泊教室に出かけました。水俣では語り部さんの講話や展示の見学、環境についての学習を行いました。2日目は、あしきた青少年の家で、ナイトゲームやマリン活動（ペーロン）、プラホビーを行い、みんなで力を合わせることの大切さを学びました。





6年生　修学旅行（長崎・佐賀）　9月29・30日

1日目は、長崎市の平和公園での見学や原爆の被害に遭われた語り部の方の講話などで、平和の尊さをしっかりと学びました。2日目。バイオパークで動物とのふれ合いや買い物を楽しみ、吉野ヶ里歴史公園では弥生時代の人々の生活に思いを馳せました。

旅行後には、タブレットコンピュータなどを使って、2日間で学んだこと、考えたことをまとめていく学習をしていきます。








共に歩んだ夫婦の絆

ダイヤモンド婚・金婚式表彰

9月30日に氷川町文化センター講堂でダイヤモンド婚夫婦表彰式および熊日金婚夫婦表彰伝達式が行われました。

本年度は、ダイヤモンド婚（昭和31年に結婚されたご夫婦）17組中15組、金婚（昭和41年に結婚されたご夫婦）35組中30組の方が式に出席、表彰を受けられました。

出席されたダイヤモンド婚ご夫婦に藤本町長から、金婚ご夫婦には平岡熊日八代支社長からそれぞれ表彰状と記念品が手渡されました。

また、出席された被表彰者を代表して、ダイヤモンド婚　太田邦博さん（新田）が謝辞を述べられました。

◆ダイヤモンド婚　17組

今田　一幸・幸子　（島　地）
上村　靜喜・ヨシ子　（有　佐）
上蔀　進・弘子　（南鹿野）
太田　邦博・ノブ子　（新　田）
岡田　一喜・ナナ子　（　栫　）
河野　健男・ヒサヨ　（北鹿野）
田島　行光・トシ子　（笹　尾）
田中　實・宮子　（新村北）
中島　昭之・チヅ子　（笹　尾）
野田　勇・康子　（法道寺）
橋本　健・ミネ子　（新村南）
林田　孝介・勝子　（西野津）
星田　義治・節子　（下　宮）
宮﨑　忠則・ツヤ子　（西網道）
宮村　司・惠子　（北　川）
山高　和俊・チホ　（北野津）
吉永　道治・ナツエ　（有　佐）



▲ダイヤモンド婚表彰者の皆さま

◆金婚　35組

赤星　健二・妙子　（沖　塘）
泉　強・富美江　（宮　園）
一森　勝行・登美子　（若　洲）
今田　澄夫・千代香　（島　地）
岩岡　十一・ケイ子　（中大野）
岩野　雅利・カズメ　（吉　本）
岩村　重明・美惠子　（高野道）
賀久　隆・幸子　（高　塚）
樫山　教昭・美智子　（新村南）
坂本　輝雄・ヒサ子　（早尾北）
白石　政志・千加子　（吉　本）
白丸　隆満・トヨ子　（北野津）
田河　覺・トシ子　（柳の江）
田河　正俊・ミチ子　（北鹿野）
田島　誠一・ツヤ子　（北野津）
中川　亮一・弘子　（北　川）
中島　和人・八重子　（高野道）
中島順之助・良子　（中大野）
中島日出征・幸子　（柳の江）
中野　文夫・アサ子　（法道寺）
服﨑　節男・多鶴子　（早尾北）
平山　俊春・美智子　（反　甫）
広田　剛・佳子　（西野津）
福田　勲・榮子　（北鹿野）
藤井　豊・鏡子　（北鹿野）
古里　淳市・幸子　（新村北）
本田　幸生・ミツエ　（本　山）
前橋　照雄・祥子　（高　塚）
前村　茂義・ミヨ子　（上鹿島）
光田　錬一・トミ　（河　原）
南　勲・京子　（　今　）
森崎玖美男・セツ子　（西網道）
山口　邦紘・春美　（若　洲）
山野　茂・節子　（柳の江）
山本　勝久・美智子　（　栫　）

※50音順・敬省略



▲金婚表彰者の皆さま

まちのトピックス！

健康に感謝 長寿を祝福

敬老会

9月19日、氷川町公民館および竜北体育センターにおいて、敬老会が行われました。

式典では、小学生による敬老作文発表や老人クラブ連合会による交通安全宣言が行われ、その後は敬老会員を代表して老人クラブ連合会の小野一成会長(西上宮)が謝辞を述べられました。

式典終了後は、保育園など各種団体のアトラクションが行われ、式典に華を添えました。

参加者からは「来年も参加できるよう、健康で長生きばせんば。」との声が多く聞かれました。







▲謝辞を述べられる小野会長



▲氷川中生徒による「ソーラン節」

友好町大空町との交流

9月20日から4日間の日程で、友好町である北海道大空町との交流事業が行われました。

今年度は、両町共通のイベントであるマラソンをテーマにした交流を行い、7人の大空町訪問団のうち5名の方に梨マラソンに参加していただきました。北海道ではありえないような入り組んだコースに戸惑いながらも、たいへん楽しんで走られました。

また期間中には、道の駅での特産品の販売や、みかんや梨の収穫体験などを行い、北海道とは異なる自然や地域性を感じてもらいながら、多くの人と交流を深められました。

今後も、この事業を継続して交流を深めてまいります。



▲大空町交流団の皆さん（立神峡）



▲みかんの収穫を体験



▲大空町の特産品を PR（道の駅「竜北」）

目指すは交通事故ゼロ

秋の交通安全運動出発式

9月21日、氷川警察署において、秋の交通安全運動に伴う出発式が行われました。

出発式では、交通安全運転功労者表彰や交通安全宣言が行われ、最後は宮原慈光保育園園児が元気な太鼓演奏を披露してくれました。今年は熊本県警察のマスコット「ゆっぴー」も来場し、子どもたちの人気者になっていました。

また式後は、道の駅「竜北」前の路上において、老人クラブ連合会、交通安全協会、交通指導員、交通安全母の会の皆さんによるキャンペーン活動として、「事故なし」にかけた吉野梨やグッズの配布も行われ、交通安全を呼びかけました。



▲交通事故ゼロを目指して出発



▲「事故なし」。梨をプレゼント



▲ゆっぴーと一緒に敬礼

出場おめでとうございます

激励会

9月21日、氷川町役場庁議室において激励会が行われ報奨金が手渡されました。

出場選手、大会などにつきましては次のとおりです。

【大会名】
第29回全国健康福祉祭ながさき大会（ねんりんピック長崎２０１６）テニス交流大会

【出場者】
松枝（まつがえ）　宏和（ひろかず）さん（河　原）

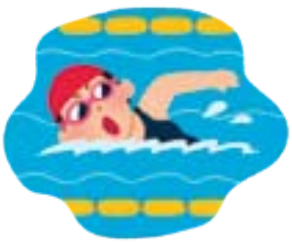




【大会名】
第48回九州ジュニア水泳競技大会

【出場者名】
小林（こばやし）　佳澄瑠（かみる）さん（竜北西部小学校５年・西網道）
山口（やまぐち）　瑠璃（るり）さん（竜北西部小学校６年・若　洲）
小林（こばやし）　佳紋（かもん）さん（竜北西部小学校６年・西網道）





月夜に触れる芸術

十五夜お月さん演奏会

9月17日、氷川町文化センターにおいて、恒例の十五夜お月さん演奏会（氷川町文化協会主催）が行われ、昨年を超える１８０人近い来場がありました。

今年は、地元に根付いた本格的な和楽と邦舞の世界を創り上げ、将来芸を超えた芸術と称される舞踏団「花童」が来場されました。

舞台では十五夜にちなんだ曲や「くまもと音頭」などの地元をテーマとした曲目を披露され、参加者は瞬きを惜しむように見入っていました。



▲華やかな舞台に目が離せません

祝１００歳

氷川町 長寿表彰

9月26日、１００歳を迎えられた坂上アキエさん（中網道）に、長寿のお祝いとしてお祝い状と花束が藤本町長より手渡されました。

旧坂本村より30年ほど前から住み始め、現在もご自宅で元気に過ごされています。いつも草むしりなどで身体を動かされており、楽しみは家の周りを散歩されることだそうです。長寿の秘訣をうかがうと、身体を動かすことと食べ物の好き嫌いが無いことと話されました。ご家族のお話しでは、病院に行ったこともないのは身体を鍛えていることと食事が一番大事ですと仲良く話しをされていました。


▲これからもますますお元気に

地元で商品販売を学ぶ

氷川中学校チャレンジショップ

10月5日、氷川町公民館において、生徒が模擬店で商品を販売するイベント「第11回氷川中学校チャレンジショップ」が行われました。

これは平成18年から行われている地域の商店や住民との交流を深めることを目的とした行事です。

生徒たちはこの日までに、地元の商店や農家の皆さんの協力のもと商品を仕入れて販売。来場者に、商品をＰＲするなど元気に接客を行っていました。

また、当日は「くまモン」や氷川町の「ひかりん」も来場し中学生の頑張りを応援していました。


▲元気に接客「ありがとうございました！」

ふるさとの歴史に触れて

竜北東小学校3年生ふるさと学習

10月14日、高塚熊野座神社において、竜北東小学校３年生27人が岩戸児神楽の見学と聞き取りの学習を行いました。

この学習は、地域の方からお話を聞くことで地域に伝わる行事などから関心と理解、自分たちとの関わりを考えることを目的としたものです。

生徒たちは神楽奉納者である同小学校の生徒５人の舞を見学した後に、熊野座神社の歴史などの話を聞きました。質問の際は「なぜ踊る回数に決まりがあるのですか。」など、気になったことを質問し、神楽ついての知識をより深めていました。


▲お話を聞いて真剣に学習